



【 学校訪問研修 】

- 今日は、富山県教育委員会、西部教育事務所、南砺市教育委員会から多くの方に来校していただきました。午前中は授業を参観していただき、午後からは授業や学校運営に対するご指導や、教育実践における今後の方向性等について話をしていただきました。
- 大変参考になったご指導の中で、特に授業の中でのよさについて幾つか紹介します。

- ・「なぜ伝えたいと思ったの？」と問いかけたり、「みんなに向かってお話をしてください。」と仲間同士をつないだりしたことがよかった。
- ・教師が「聴くときは、話をしている人に体を向けて聴こう。」と促している。「よい聴き手は、よい話し手を育てる。」という指導観が実際になされている。
- ・目をつないで聴く、頷きながら聴くという姿が見られた。
- ・土を採取する場所を、教師からでなく、子供が選んだことがよい。
- ・子供の発言に対して、「納得できる？」と、改めて子供に問いかけている。
- ・教師が、どの発言も受け止めて聴いていたのがよかった。

- 年に1回行われる学校訪問研修は、私たち教員にとって、**授業力を高めるチャンス**です。それによって、**子供の学力（学ぼうとする力・学ぶ力・思考力・判断力・表現力等）**が高まります。中には、来客のため緊張して発言が少なかった学級もありますが、多くの学級では、来客があることで気を引きしめ、普段よりも意欲的に取り組んでいました。

- 今の時期は、教員にとって成績処理や学期末事務処理で多忙な時期ですが、本校の教職員は本当によくやっています。**実践モラルも高いもの**があります。教員は、指導主事の方々からの指導を受け、改



- めて大切にしなければならないことや、自分には分からないよさや課題を発見したことは間違いありません。今日ご指導いただいたことは、今後の教育実践に生かし、子供・教員の力が少しでも高まるよう、微力ながら私も支えてまいりたいと思います。